

# 日本のエコカーに以前から関心

スイスのマウロ・デルアンブロージオ内務省教育研究局長官がこのほど、京都で開催された科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）と内閣府主催の科学技術関係大臣会合に出席するため来日。この二環として電気自動車（EV）の視察を行った。スイスの科学技術行政を担う同長官にスイスの自動車関連ビジネスの現状と日本のEV技術に関する印象などを聞いた。

「今回のスケジュールにEV関連の施設見学を盛り込んだ理由は、

「スイスでは、日系メーカーのハイブリッド車を使用し

来日したスイス内務省教育研究局長官  
マウロ・デルアンブロージオ氏に聞く

ており、日本のエコカーに対しては以前から関心があった。今回STSフォーラムに

の科学技術に関して何か新しい発見や興味深いものを見ることができた。とほげできないものかと考えて

「EVを見る前に日本政府の関係者とディスカッションをした。そこで日本の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）削減を行うためのさまざまな取り組みについて話題となったが、非常に興味深いものであった。日本の

は環境保護の目的で街中はEVしか走行できないようにする取り組みなど、以前からエコカーに対する政策を行ってきた。また、スイスは自国の自動車メーカーが存在しないため、部品産業や研究開発機関を通じて自動車業界にかかわっている。この中でも、最近ではHVやEVに関する取り組みに力を入れている状況だ」

## 自動車産業に貢献できるものがあれば支援したい



いた。こうした中で、日本のEVとインフラシステムを視察することになった」

「現時点でも自動車分野におけるスイスと日本の関係は民間企業や研究機関との提携など、非常に良い関係にあると思う。今後も引き続き良い関係を継続できると思

## 一部の町で環境保護から街中はEVしか走行できない取り組みも

とも生まれる可能性があるだろう」

「スイス政府としては世界中で進められているさまざまなプロジェクトに対して、貢献できるものがあれば積極的にかかわっていきたく思っている」

「エコカー関連以外で、日本の自動車ビジネスに関心の高いものはあるか」

「日本の自動車産業は、伝統があるとともに、常に新しいアイデアを世界中に発信するなど、興味深いものばかりだ。今回はEV関連の技術を視察したが、これ以外にも興味深い内容は非常に多い。こうした日本の自動車産業が進んでいる取り組みに対して、何か貢献できるものがあれば支援していきたい」

「エコカー開発に対して今後、日本とスイスでどのような連携ができるかと考えている」

「スイスにおけるエコカーに対する取り組みの現状は「ツェルマットという町で